

# 一般質問

## 質問者

津布久博人（日本共産党）  
 田島河原井東田谷藤井野石星小福庭森岡西笹坂井福相中  
 久島井東田谷藤井野石星小福庭森岡西笹坂井福相中  
 博忠 達照淳昌幸秀定芳光由享信秀重和泰賢  
 人一始夫二二弘雄子利江雄紀大郎乗俊平彦一文蔵  
 （日本共産党）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（公明クラブ）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（友和会）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（薫風会）（愛・桐生）（クラブ21）（友和会）（日本共産党）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（クラブ21）（日本共産党）

3月18日(火)・19日(水)・21日(金)の3日間にわたり、22人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

### 中央中運動部の練習場

津布久 博人（日本共産党）

質問 運動部や部員の急増により中央中の施設だけ

（中央中学校）



### 地方の元気再生事業

河原井 始（クラブ21）

質問 地方の元気再生事業についての取組み状況はどうか。

回答 平成二十年度に、

地域の住民や民間団体の創意工夫、発想を起点にしたプロジェクトを、立ち上がり段階において支援する新たな取組みとして創設される事業で、具体的な支援や予算措置などについては国や県から示されていないが、地方再生戦略の中での省庁横断・施策横断の主な取組

### 介護予防施策

田島 忠一（愛・桐生）

質問 介護予防には、どのような施策があるか。

回答 在宅介護支援センター

による転倒骨折予防教室、桐生栄養士会などの協力を得て栄養改善事業、群馬県歯科衛生士会と桐生市歯科医師会による口腔ケア事業などの講義・実習、介護予防サポーター養成研修や普及啓発を図る講演会を公民館などで実施している。

質問 どのような市民層に周知したいのか。

（在宅介護支援センター）



回答 広報きりゅうや公民館だよりを通じて周知を図っていくが、特に高齢者に参加を呼びかけていきたいと考えている。

### ごみの収集について

新井 達夫（愛・桐生）

質問 ごみ収集袋の統一と分別方法の徹底はどうか。

回答 ごみ袋は桐生地区

が透明又は白の半透明、新里・黒保根地区が記名式の指定袋となっているが、桐生市ごみ減量化推進協議会を通じ団体に依頼したアンケート結果を参考に早期に統一したい。分別は燃えるごみ、燃えないごみ、再生资源、粗大ごみの四分別十五品目で、その仕方を記載した「ごみと資源の収集力

レンドー」の每户配布、減量化教室、出前講座、広報きりゅうなどでお願いしているが、今後も機会をとらえて周知徹底を図りたい。

（パッカー車）



## 桐生市消防団

周東 照二（公明クラブ）

**質問** 消防団員の確保対策はどうか。

**答弁** 全国的に消防団員が減少し、桐生市でも定員割れしているが、四月から新たに女性の入団も予定されており、団員の確保の対応策を進め、努力したい。

**質問** 消防団協力事業所表示制度の導入はどうか。

**答弁** 消防団員の就業形態が大きく変化し、被雇用化率が增大している。今後団員の確保や活動環境の整

（水防訓練）



備に向けて、事業所などとの協力体制の構築が必要であり、地域防災力の更なる充実を図るためにも同制度の導入を検討していきたい。

## にいきと新能

佐藤 幸雄（愛・桐生）

**質問** 新里の文化として定着した「にいきと新能」

（山上城跡公園）



について、新里町での開催と伝統文化としての位置付けをどう認識しているのか。また、新年度予算編成時どのような検討がされたか。

**答弁** 歴史ある新里町山上城跡公園で行われるにいきと新能は、小雨でも開催が困難など課題もあるので、会場について総合的に検討したい。また、新能開演前に専門員による解説を行い、来場者に伝統文化を楽しみ、伝承してもらえよう配慮している。なお、新年度予算は、多角的に検討して今回の予算措置となった。

## 観光交流課について

小野田 淳二（愛・桐生）

**質問** 「観光交流課」新設の目的と取り組む姿勢・

（観光交流課）



方針はどのようなものか。

**答弁** マニフェストの緊急政策を具現化するための組織で、桐生の歴史を生かしながら、まちの活性化を図り、桐生の再出発の基にしていきたいと考えている。

**質問** 観光協会や周辺の観光地域との連携はどうか。

**答弁** 観光協会については、密接な連携のもと観光事業の推進に努めたい。周辺地域との連携は、みどり市との交流事業を通じて、観光資源を把握し、相互に情報発信に努めていく方針で準備をしている。

## 市役所体制の再編

石井 秀子（友和会）

**質問** 新組織機構が効率よく効果的に機能するため、職員の能力を発揮できる適材適所をどう考えているか。

**答弁** 新組織機構に伴う職員の配置は、職員が与えられた職務を的確に、やる気を起こして仕事に従事できるように人事配置に心掛けるとともに、職員の知識、能力、経験及び適正など総合的に判断して、実力が十分に発揮できるよう、適材適所の配置に努めたい。ま

た、それぞれの職員が垣根を越えて協力し、チャレンジ精神と市民に対する奉仕の精神を基本とした組織づくりに努めたい。

（桐生市役所）



## 桐生川へアユ釣客を誘致

細谷 昌弘（クラブ21）

**質問** 桐生川へのアユ放流の効果と天然遡上の状況

（桐生川）



はどうか。

**答弁** 桐生川には琵琶湖産稚魚を放流してきたが、成果が見られないので、福島県産稚魚により川の復活を期待したい。また、遡上については、取水堰に魚道がないため確認ができていないが、研究していきたい。

**質問** アユ釣り市長杯の実施についてどう考えるか。

**答弁** 大会の開催については、民間主体のイベントとして実施できるよう研究していきたい。市としては、後援を行う用意と市長賞についての検討を考えたい。

## 職員改革

星野 定利（愛・桐生）

**質問** 職場における朝礼について、現在どのように実施されているのか。

**答弁** 朝礼は、職員同士の目標・情報の共有化、組織の一体感を生み出すための非常に重要な要素と考えている。また、全職場ではないが、各職場の判断により実施している職場もある。

**質問** 全職場において、毎日の朝礼を徹底させる考えはあるか。

**答弁** 毎日の朝礼の実施

については、必要性は十分認識しているが、各職場では、随時朝礼の趣旨に沿った報告・連絡などにより目標・情報の共有化を図っている。

（朝礼の様子）



## 入札制度

小滝 芳江（クラブ21）

**質問** 現在の入札制度はどのようなものか。

（桐生市役所）



**答弁** 現在の入札制度は入札の適正化を推進するため、予定価格の事前公表、最低制限価格の導入、市内業者や業者ランクなどを条件とした、条件付き一般競争入札などを実施している。  
**質問** 条件の中に、企業として環境や男女平等施策の推進などを取り入れたり、変動型最低制限価格や事後審査型一般競争入札制度の導入について考えているか。  
**答弁** 条件について、今後検討していきたい。また、変動型最低制限価格などの導入も十分検討したい。

## 工学部への支援

福田 光雄（愛・桐生）

**質問** 群馬大学工学部の市外移転はないか。また、

（群馬大学工学部）



工学部への支援や市内にあることの経済効果はどうか。  
**答弁** 工学部は、これまでの産学官連携が高く評価され、施設整備や建物の耐震補強と全面改装をほぼ終えており、こうした経緯からも移転の動きはないと考えている。また、支援については、市有地を駐車場として提供、道路照明灯の設置、会議などに対し市民文化会館の無料解放などを行っている。なお、経済効果は大手企業と同等かそれ以上あるといわれており、今後も支援強化に努めたい。

## 学校の跡地利用

庭山 由紀（薫風会）

**質問** 身体障害者センターを南中学校跡地に移すのは、施設の老朽化が理由か。

**答弁** 身体障害者センターは、旧桐生女子高校の建物を改修したもので、建物全体の老朽化が激しく、耐震性も大変低く、安全な施設への移設が急務である。

**質問** 移設に関して、新生総合計画における位置付け及びコスト計算はどうか。

**答弁** ノーマライゼーションの実現を計画の理念とし、移設は各種施策実現のための環境整備と考えている。なお、合併特例債により事業を行うが、福祉サービスのコスト計算は難しい。



（旧南中学校）

## 交通安全施設整備

森山 享大（愛・桐生）

**質問** 岡登緑道沿いの市道は、歩道の無い区間があるなど、天沼小学校では危険箇所と指摘されているが、歩道整備の考えはあるのか。

**答弁** 岡登緑道沿いの市道は、交通量も多く天沼小学校の通学路でもあるため、再三歩道整備の要望があり、このため、平成十六年度から歩道整備を進め、現在百三十メートル区間の整備は完了した。なお、歩道の無い区間については、一部が



（岡登緑道沿いの市道）

岡登緑道にかかっていることから、緑道を管理する岡登壇土地改良区とも協議し許可が得られれば整備していきたい。

## 伝統的建造物群保存地区

岡部 信一郎（クラブ21）

**質問** 本町一・二丁目において、伝統的建造物群保

（本町通り）



存地区の指定を目指すあたり、その利点は何か。

**答弁** 指定を受ける利点は、保存条例に基づき、伝統的建造物の外観保存などを目的として修理を行う場合、助成を受けられるほか、建築時における緩和措置や税制面でも利点がある。

**質問** 指定に向けた課題は何か。

**答弁** 保存条例の制定や道路などのほか、地域の人の主体性をもつたまちづくり活動の参加が課題であるが、相互の連携を密にして具現化に努力していきたい。

## 幼稚園について

西牧 秀乗（友和会）

**質問** 市立幼稚園の園児数及び、園の統合の基本的

（天沼幼稚園）



な考え方はどうか。

**答弁** 平成十九年四月現在では、十四園で三百四十六人であり、市民の多くの意見や地域バランスを加味して、四園に統合する当初案から七園とする案とした。

**質問** 地域性だけを考えると、園児数の多い天沼幼稚園を廃園にするのは問題がある。存続の要望について、どのように検討するのか。

**答弁** 天沼幼稚園を存続させる要望については子供の教育を一番に考え、様々な意見を踏まえて総合的に判断していきたい。

## 多重債務問題

笹井 重俊（日本共産党）

**質問** 多重債務問題について、市民生活を再建するという視点から、庁内の連携は取れているか。

**答弁** 桐生市の多重債務者相談は、消費生活センターで対応している。国保や税務、福祉部門との連携は、個人情報など難しい点もあるが、関係部局と連携して救済措置を行うことは、行政運営にもメリットがある。

**質問** 多重債務問題が解決できれば、優良な納税者

になれるのではないかと

**答弁** 多重債務の解消は

滞納対策につながるかと考え、多重債務者への無料法律相談の紹介などを行っている。

（消費生活センター）



## 新里町の道路改良

坂田 和平（愛・桐生）

**質問** 主要地方道前橋大間々桐生線の新里地区主要交差点の改良工事の見通しは、どのようなものか。

**答弁** 上電踏切手前から宿交差点までの歩道整備は、県の事業で進められ、平成十九年度で一部を残して事業完了予定である。また、新川交差点は、県との工事施工協定事業で渋滞解消を目的に、平成二十年度完成を目指している。小林交差点についても県事業である

（前橋大間々桐生線）



が、地元説明会を開催して、現地測量を実施しており、平成二十年度から事業採択を受け、渋滞解消に向けて県と協調して推進したい。

## ごみ袋の統一

井田 泰彦（クラブ21）

**質問** 新里、黒保根地区のごみ袋を、桐生地区の指

（ごみ袋）



定ごみ袋に統一して、料金差の解消ができないか。

**答弁** ごみ袋の統一は、現在早急に検討している。地球温暖化防止や、ごみ減量のためにも記名式ごみ袋は必要であるが、現在アンケート調査を実施しており、この結果を踏まえて、実施していきたい。また、みどり市との連携推進会議の中でも統一に向けて協議を進めるとともに、同じ袋にすることににより価格を下げるなどの研究をしており、市内の価格の差についても早めに解消していきたい。

## 都市整備

福島 賢一（愛・桐生）

**質問** 中通り大橋線の太田敷塚インターへの延伸に

（中通り大橋線）



向け、県道昇格を視野に入れる考えなど、具体的な取り組みはどうか。

**答弁** 中通り大橋線は、都市計画マスタープランにおいて、太田敷塚インターへのアクセス道路として桐生大橋線と併せ、延伸ルートとしての位置付けを行っている。なお、延伸ルートは広域に渡る道路となるため、隣接する太田市に、現在改正中の「太田市の都市計画マスタープラン」に位置付けていただくなど、関係機関と連携し、取り組んでいきたい。

## 産学官

相沢 崇文（クラブ21）

**質問** インキュベーション・オフィスの入居状況な

（インキュベーションオフィス）



どは、どうなっているのか。

**答弁** 本町五丁目東武本町ビルの十六室を借り受け、現時点では六室の入居のほか、二室入居予定である。施設の月額賃料は、二階が七十二万七千六百五十円、三階が百五万円である。

**質問** 今後の課題や賃料を安くするために空き店舗活用など考えているか。

**答弁** 入居率の向上や入居者の活動支援など、関係機関と緊密な連携を図っていききたい。なお、空き店舗活用により賃料は若干安くなるが、改装費がかかる。

## 長寿センターの改善

中田 米蔵（日本共産党）

**質問** 長寿センター使用料有料化後の利用状況及び今後の対応策はどうか。

**答弁** 長寿センターは、

桐生市社会福祉協議会に土地建物を無償貸与し、民営施設として運営されている。使用料有料化後の市内各施設の合計では、六十六・六パーセントの利用減となっている。今後は、平成二十年度から一人暮らしの高齢者に無料で使用できるように検討し、介護予防サ

（長寿センター）



ポーターボランティアの協力を得て、社会福祉協議会と連携して各種事業の展開を図り、利用増に結びつく施策を考えたい。